

燦たり  
四中  
学校たより

# 磨き合う

10月4日  
10月4日  
10月4日



## たかが あいさつ... あれど...

夏休み前が約2ヶ月、道路工事があつたため、朝から交通指導に立たせてもらっています。先日、おふたりの地域の

方から声をかけていただきました。お男性の方からは、『**四中生は(挨拶もせずに)元気のなかね...**』と言われ、別の女性の方からは、『**笑顔で挨拶をしてくれて気持ちがいいですね**』と言われました。男性が「出会った生徒とすれ違うか、女性が出会った生徒とすれ違うか、四中生全員の見られ方が変わるんだらうな」と感じました。つまり、学校関係者以外の人にとっては、出会った生徒の印象が四中生全員の印象になります。悲しいですが、世間一般の受けとり方というのはそんなんです。不愛想な生徒と出会った人は、『**四中、てがうが悪かね**』と思われ、礼儀正しく、愛想がいい生徒と出会った人は、『**四中、てよが学校ね**』と思われ、その思いで個々の生徒を見て、朝から挨拶に対して、人それぞれの反応があるなあ、と思います。大きな声で先に挨拶をしてくれる人、こちらから挨拶をしたら返してくる人、声は出さないけど会釈をする人、じーんとこちらを見て何も言わず通りすぎる人、視線を合致せずいそいそと通りすぎる人。この違い、どうして出てくるんでしょうか？長いこと教員をやってはいますがわかりません...。こんなことを言ってる私なんかは、小学校の時は多動でうるさく、授業中はビニールテープでイスに体をまきつけられ、卒業アルバムに寄せ書きには「体は小さいけど口だけは発達した」と書かれ、通知表には毎回『おちつきがな...』と書かれ、親に見せたたび怒られるほど「おちつきが」

なかつたのですが、人見知りかひどくて挨拶ができません。気がなつたりして通りすぎるというタイプでした。聞いた話では、**人柄や性格といった人格は思春期の時につくられる**そうで、今の時期に自分を変えないと、なかなか変わらないそうです。実際に、私は中学生の時に『**大人になれば、ちゃんと挨拶とかするようになるし...**』と思つて変わろうとしなかつたので、未だに苦しんでいます。学校の先生という立場になつているにも関わらず、「おはよう」と挨拶ひとつするのに緊張しますし、人の目を見て話せないんです。社会人として失格ですよ。でも、それが事実なんです。だからこそ、子どもたちには**今のうちに挨拶が大きな声でできるよになつてほしい**、

と思っています。では、なぜ挨拶は大切なのか？それは、挨拶することが、相手を認め、心を開くことだからです。挨拶をしない人というのは、無意識に心を開きかけている人ですね。そうすると、人から話しかけられにくいし、人にも話しかけにくい人です。私がそうでした。だから自分が変わるために、自分から心を開いて挨拶をすることが大事なんです。コミュニケーションが苦手な人や、今の自分を変えたい、と思つている人は、まず挨拶からやってみよう！それも、『**相手の目を見て自分から大きな声で**』です！！自分からしても、もしかしたら相手はしてくれないかも...』と考えると、勇気がいらしますよね？でも、**その勇気が大事なんです！！**

その勇気が「自分の自信となり、自分を変え、自分が変わると、まわりの人が自分を見る目が変わり、まわりの世界が変わってきます。少しずつだけど自分が変わってきますよ！！

### 思春期の今しかチャンスはあつませんよ！！

返信よろしくお願ひします！！  
様々なご意見ありがとうございます！！  
とてもありがたいです。校則に關してのご意見も本當に助かります。保護者の視点からの考えをお願ひします！！

